

一致を保つ ピリピ4:2-3

香港JCF
2010年7月4日

1

I ユウオデヤとストケの不一致

1. ピリピ教会の代表的婦人奉仕者たち
2. パウロの宣教に協力(同労者、戦友)
3. 「熱心で視野の狭い？」奉仕者の課題
4. 一つ思いになってほしい(一致の秘訣は?)
→どの教会も、どんな信仰者も完全ではない
→「父なる神と神の国の前進」の視点の必要
→「主にあって」(十字架の赦しの恵み)が鍵

2

II 4種類の不一致

1. 福音からずれている人(3:18)→信仰の確立
2. 党派心の強い人(1:17)→結果を見守る
以下は主に教会内の不一致
3. 未熟な信仰者(3:15)→成長に期待する
4. 熱心な奉仕者(使15:39):ビジョンの一致
→ビジョン、賜物、福音の理解(神の国の視点)の確認

3

III 熱心な奉仕者の一致

1. 福音と聖霊理解の確認(使19:1-7)
2. 動機(愛)の吟味(1:16)←献身(ロマ12)
3. 成長を待ち、寛容・忍耐をもつ(コロ4:10)
4. 自分の限界を知り、自分の分に集中する
 - ①賜物と協力
 - ②奉仕者の養成
 - ③教会への協力
 - ④自分固有の使命と奉仕に集中する:光と火
 - ⑤私は神ではない、キリストの恵みの中で生きるだけ→引きこもらず、分を越えず、聴従する

4

IV 一致のための助け(適応)

真実な協力者とは？

1. 一方だけの話を鵜呑みにしない→なるべく事前の判断をしないで両者の話を聞く
2. 対立に巻き込まれない(ほど良い距離)
→〇応援団にならない、×過度の同情や反発
3. 話を取り次がない、噂話にしない→執り成し
4. ふさわしい話し方で直接、話し合う機会を持つことを勧める→聴いて、祈ることが優先

5

(続) 一致のための協力(適応)

5. 成長のための良い機会となるよう励ます
6. 一致点に集中し、相違点を強調し過ぎない
7. 賜物の多様性を喜び、相補的な協力を推進
8. 過去の繰り返しや心の「通奏低音」に気付く
9. 十字架の赦しの恵みの自・他への適用
10. ビジョンや共同体への責任を強調(使6章)
私は真実な協力者だろうか？

6